

## 初めてのカナダ留学者のための基本情報

### ■まずは知っておきたいビザの違い

---

#### ◆学生ビザ

：6ヶ月以上の就学を希望される方は渡航前に取得が必要です。

同じビザでの就労はできませんので気をつけましょう。

#### ◆ワーキングホリデービザ

：1年間のカナダ滞在が認められ就労も可能です。6ヶ月までの就学も認められており勉強とお仕事の両方を経験されたい方には最適です。

#### ◆観光ビザ（日本国籍の方はパスポートが該当）

：日本のパスポート所持者は6ヶ月までカナダ国内の滞在が認められ、その期間内であれば就学も可能です。但し、期間内にインターンシッププログラムや医療関連のプログラムに参加される場合は学生ビザの申請が必要です。同じビザでの就労はできません。

### ■入国/滞在方法について（1年以上カナダでの滞在をご希望の場合）

---

#### ◆観光ビザで入国→ワーホリビザに切り替え

就学期間が6ヶ月までの場合、観光ビザで入国し就学ができます。その後、ワーホリビザに切り替えることが可能です。英語力を身につけた上でワーホリに切り替え、1年間、カナダで働きながら生活したいかたにオススメです。

#### ◆学生ビザで入国→ワーホリビザに切り替え

就学期間が6ヶ月以上の場合、学生ビザで入国し就学ができます。その後、ワーホリビザに切り替えることが可能です。高い英語力を身につけた上でワーホリに切り替え、1年間、カナダで働きながら生活したいかたにオススメです。

#### ◆ワーホリビザで入国→学生ビザに切り替え

就学期間が6ヶ月まででワーホリビザでカナダ入国し、ワーホリ期間終了までに次の学校の手続きを行い学生ビザに切り替えることが可能です。ワーホリ期間中に英語力を伸ばし、その後、カナダのカレッジ（私立/公立）や大学に通いたい方にオススメです。

#### ◆学生ビザで入国→学生ビザの再取得

就学期間が6ヶ月以上で卒業後、新たに別の学校に通う場合、学生ビザの再取得が可能です。語学学校の大学進学コースからカナダのカレッジ/大学進学を目指す場合に利用される方法です。

■ 都市について

	バンクーバー	トロント	その他エリア
気候	夏季は晴天が続きハワイのような心地よさ。 冬は東京や大阪のような気温なので日本と同じような防寒着で大丈夫ですが、10月～3月は雨が多くなります。	夏季は晴天が続きますが、冬は氷点下になることも多く非常に寒いです。寒さが苦手な方は西海岸がオススメ。	西海岸にあるエリアはバンクーバー同様の気候。逆にカルガリーから東の都市は、トロントのような気候になり冬は非常に寒くなります。
学校数	学校数は非常に豊富で希望にあう学校も見つかりやすいです。	学校数は非常に豊富で希望にあう学校も見つかりやすいです。	エリア内の学校数が限られるので選択肢は非常に少ない。
各国からの留学生数	非常に豊富	非常に豊富	都市部の学校よりかなり限定されます。

■ 学校の種類（語学学校？ or カレッジ・大学付属の英語コース？）

	語学学校	カレッジ・大学付属英語コース
主目的	文法、リーディング、リスニング、ライティング、語彙などの英語基礎力を上げ、スピーキング力を伸ばす	学部入学に必要なアカデミックな英語力の習得、および授業スキル（リサーチ、ノートテイキング、討論）を身につける
レベル数	6～17レベル	3～8レベル
入学日	1回/月（学校により2回/月）	1回/2～4ヵ月

■ 語学学校の違い

	大規模校	中規模校
クラスの人数	1クラス平均 12人～15人	1クラス平均 7～10人
性格の向き不向き	クラス内にたくさん人数がいても気にせず発言できる方は大規模校でも大丈夫です。	どちらかというと消極的でクラスの人数が少ない方が安心という方は中規模校向きです。
レベル数	平均 12レベル	平均 8レベル
国籍	豊富な様々な国からの生徒が在籍し、国籍分布では中規模校を1歩リード	大規模校にはやや劣るもののヨーロッパ、南米、アジア、中東の生徒が在籍し十分な国籍分布。

■基本スケジュール（語学学校の場合）

以下は、語学学校のフルタイムのコースを受講した場合のサンプルになります。

\*スケジュールは学校により多少異なります。

9:00~12:00	総合英語	文法・読み書き・聞く・語彙など全ての分野をバランスよく勉強
12:00~ 13:00	昼食	
13:00~ 15:30	選択授業 or スピーキング or 資格コース等	選択授業の一例) リスニング・リーディング・ライティング・ボキャブラリー・発音練習・ビジネス英語・TOEIC 対策・カナディアンカルチャー *上記は一例です。

■費用サンプル

例) フルタイムコースの場合 (1 CAD=76 円で算出・Yahoo 為替 2012 年 1 月参照)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月
入学費	\$100	\$100	\$100
授業料	\$ 1300	\$ 3900	\$ 7800
滞在費	\$ 800	\$ 2400	\$ 4800
航空費	\$ 1500	\$ 1500	\$ 1500
滞在手配費	\$ 200	\$ 200	\$ 200
空港送迎費	\$ 80	\$ 80	\$ 80
交際費	\$ 200	\$ 600	\$ 1200
合計	\$4,180	\$8,780	\$15,680
円建て	<b>¥ 317,680</b>	<b>¥ 667,280</b>	<b>¥ 1,191,680</b>

\* 保険料は含みません。交際費はお客様によって大きく変動します。

\* 滞在費はホームステイ/3 食付の料金を基に算出しています。

\* 長期お申込の場合、授業料の割引もごさいます。(学校規定による)

## ■ 日本人カウンセラーとアクティビティ

---

都市部の殆どの語学学校には日本人カウンセラーが常駐しており、留学生のサポートを行なっています。英語の勉強や現地での生活相談にもってくれるので心強い存在です。また、放課後にはアクティビティが企画されており、ヨガ教室や映画鑑賞、ビーチバレー、バスケットボール、Bar night、週末を利用したスノーボード、カナダ・アメリカ観光などが代表的です。異なるレベルの留学生とも仲良くなれるチャンスなので積極的にご参加ください。\*無料・有料のものがあります。

## ■ 滞在方法

---

基本的に最初はホームステイでの滞在になります。生徒の希望により 1 ヶ月～からの申込や現地での滞在延長が可能です。シェアハウスにも興味がある方は、最初の 1、2 ヶ月だけホームステイを申し込み、その後、シェアハウスに移ることも可能です。初めてのカナダ留学の場合、FSS-Osaka では 2 ヶ月のお申し込みをオススメしています。留学初月は新しい生活に慣れたり、銀行の口座開設や携帯電話の契約などやるべきことが色々あります。それに加え 1 ヶ月目から次の滞在先を探すのはかなり大変です。

仮にシェアハウス探しが上手くいかなかった場合でも、ホームステイを 1 ヶ月だけ延長すれば滞在先の確保もでき安心です。(延長の場合、4 週間前までにステイ先/学校への連絡が必要)

## ■ お金

---

長期留学の場合、\$500 程度の現金と\$1,000 程度のトラベラーズチェック (TC) を持参すると安心です。残りは現地で銀行口座を開設後、ご家族に送金してもらうと良いでしょう。

トラベラーズチェックは日本の銀行等で購入でき、現地の銀行・両替屋で換金できます。アメリカンエクスプレスの TC はどこでも使用できるのでオススメです。

## ■ 銀行

---

長期留学の場合、現地で銀行口座を作るほうが引き落としの際の手数料も安くお得です。

銀行口座は誰でも簡単に開設いただけますので、学校の日本人カウンセラーや FSS のカウンセラーにご相談ください。

口座をカナダで開設しておく、銀行カードでスーパーやレストランのお支払いもできるので非常に便利です。留学生には、ATM の設置場所も多い TD バンクが非常に人気です。その他、Royal Bank や Bank of Montreal が有名です。

## ■ 携帯電話

---

都市部には日本語の通じる携帯ショップもあるので簡単に契約することができます。日本と同様、様々な料金プランやプリペイドもあり予算や使用頻度によってお選び頂けます。

## ■ SIN カード (Social Insurance Number/社会保険番号)

---

カナダで有給のお仕事に付く場合、SIN カードの取得が必要です。申請には 1 : パスポート 2 : 就労許可証 (ワーホリビザ) 3 : 申請書 4 : 住所が必要です。直接、オフィスに出向き申請してください。申請後、3~4 週間で SIN カードが滞在先に郵送されてきます。ワーホリ留学でカナダで就労する方は必ずお手続きを完了してください。お手続きに関して不明な点は、FSS の現地カウンセラーや学校カウンセラーにご相談いただけます。

### 申請場所

バンクーバー	Sinclair Canter 4F「Service Canada Center」
トロント	Human Resource Center